和歌山県立
日高高等学校
SGH通信
第１８号
2020年1月27日

2019年度◆SGH海外研修◆
インドネシア研修 その１

2019年10月14日 ～ 19日

テーマ「地域防災」

今年度は２年生１名、１年生３名の計４名が参加しました。マダニア高校との協働学修では、高齢化が進む日本と世界第４位の人口であるインドネシアという違いを背景に、世代に焦点をあてたテーマを設定し、それぞれの国内で事前学習を進めてきました。現地ではプレゼンテーションとディスカッションで防災対策の重要性を確認した他、調理実習や伝統音楽体験での生徒交流もあり、充実した日となりました。

◆日高高校テーマ　　：「高齢者にできること」
◆マダニア高校テーマ：「12歳以下の子どもたちにできること」

事前研修を通して学んだこと
１年６組　祭本　真由

人々が持っている防災意識は
受動的防災意識であり、
自主的防災意識ではない。
だから、考えと行動がマッチングしていないという問題が発生すると考える。

学校や地域で実施される避難訓練や防災スクールにおいても、受動的な態度で取り組んでいる人が多く見られる。実際、私自身も日高高校が被災後、避難所としてどのような機能を果たすのか知らなかったし、自ら知ろうともしていなかった。

このように、防災の重要性は誰もが認識していることだが、行動が伴っていないのが現状である。また、高齢者の避難という点では共助が大きな役割を果たすと考えられるが、高齢者の存在や健康状態を把握できていない人や地域も多い。このような、個人や集団を取り巻く課題を克服することが、一人でも多くの命を救うことにつながると思う。その手助けを自分たち高校生がどれだけできるかは分からないが、人々に自主的防災意識を持ってもらい、それを個人のみならず、集団に還元できたらよいと思う。